



## 田植え・泥あそび体験

6月11日(水)、恒例の田植え・泥遊び体験を実施しました。今年も島田先生の田んぼをお借りしました。梅雨入りし、天候が心配されましたが、雨も降られず行うことができました。

田植えチームは、和歌山ろう学校の児童、教師と一緒に横一列に並び、後ろに下がりながら苗(5~6本)を土に指と一緒にさすようにして植えていきました。みんなとても集中し、黙々と作業に取り組んでいました。泥あそびチームは、水田に入ると、さっそく水かけが始まりました。泥の感触に慣れてくるとダイナミックになっていき、泥を身体に塗ったり、泥の中でジャンプしたりしてあそんでいました。水田の泥は歩きにくく、バランスをとりながら進んだり、掴もうとしてもうまく掴めず、どうやったら泥をまとめて掴めるかを工夫したりしていました。



今回お借りした田んぼの広さ約60㎡。約40kgのお米が収穫予定だそうです。おいしいお米になあれ!!

## 盲学校に盲導犬がやってきた!

6月17日(火)、大阪府千早赤阪村にある日本ライトハウス盲導犬訓練所のご協力を得て、「盲導犬とのふれあい教室」を開催しました。当日は「盲導犬啓発宣隊デモ犬ジャー」のウェイドくんとワックちゃんの2頭が学校に来てくれました。当日までクラスで盲導犬のお話を聞いたり、絵本を読んだりして事前学習をしていたため、盲導犬に会えることをみんな楽しみにしていました。

はじめにライトハウスの方から盲導犬のお仕事を聞いたり、歩行に使う「ハーネス」という道具をさわらせてもらったりしました。ふれあいタイムでは、実際に盲導犬にふれ、その大きさにおっかなびっくりした人、からだの仕組みを触察して確かめている人がいました。盲導犬は吠えないように訓練をされているので、からだをさわられても吠えたりせず、みんなもじっくりふれあうことができていましたね! だんだん慣れてくると、毛並みに触れるときに、そっとやさしく触れる手になっていました。その後は、実際に盲導犬と一緒に歩く体験をさせていただきました。ハーネスをしっかり握って、盲導犬と息を合わせて歩くのは緊張しますが、みんなはじめてとは思えないくらい落ち着いて取り組んでいました。



参観してくださった保護者の方にも歩行の体験をいただきました。みんな、盲導犬が大好きになったね! また来てね🐶

質問タイムでは…「盲導犬は男の子と女の子、どちらが多いですか?」(答え:同じくらい)「盲導ネコはいますか?」(答え:いません)など、いろいろな質問がありました。

## 近畿フロアバレーボール大会に出場しました!

6月11日(水)に兵庫県で開催された近畿フロアバレーボール大会。和歌山盲学校は1回戦、京都府立盲学校と対戦し、惜しくも負け、全国大会への出場は叶いませんでした。監督の野尻先生は「練習の成果を発揮していい試合ができていた」と報告してくれていました。選手のみなさん、お疲れ様でした!